



2017年9月中間期 決算説明会

株式会社 マキタ
取締役社長 後藤 宗利

2017年11月7日

1

2017年9月中間期 連結業績



前年中間期比

売 上 高	2,310億円	+ 15.4%
国内売上	399億円	+ 13.3%
海外売上	1,911億円	+ 15.9%

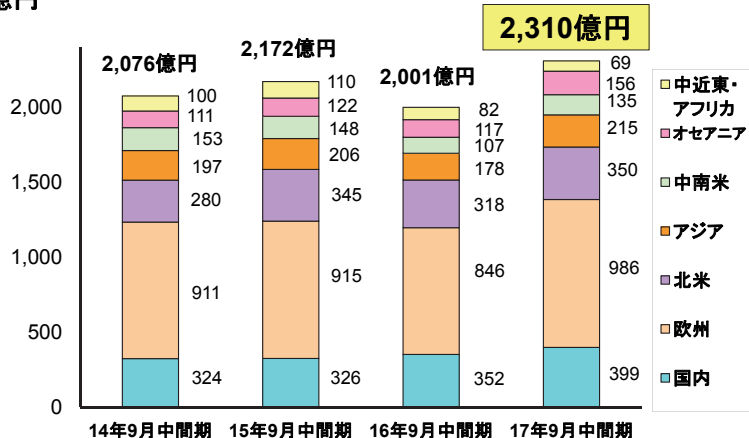
海外比率 82.7% (16/9 82.4%)

2

地域別売上高(中間期推移)



億円



3

為替レートの実績



	16年9月期 中間期	17年9月期 中間期	
米ドル	¥ 105.20	¥ 111.04	5.6%の円安
ユーロ	¥ 118.04	¥ 126.32	7.0%の円安
人民元	¥ 15.92	¥ 16.42	3.1%の円安

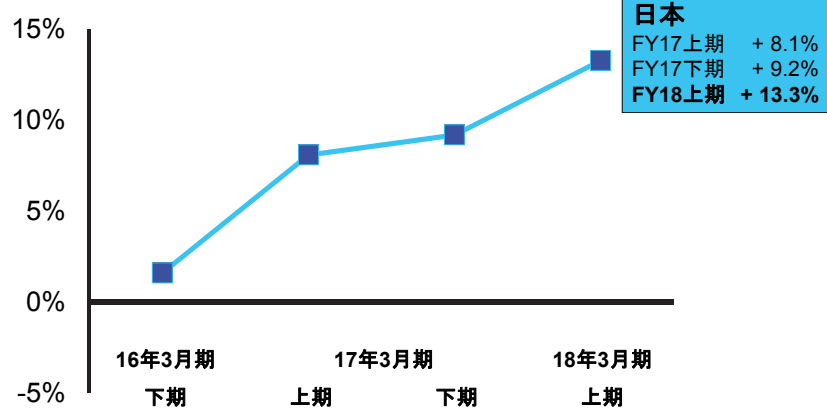
全通貨の加重平均で**6.6%の円安**
売上高の増加額 **118億円**

4

現地通貨ベース売上動向



日 本



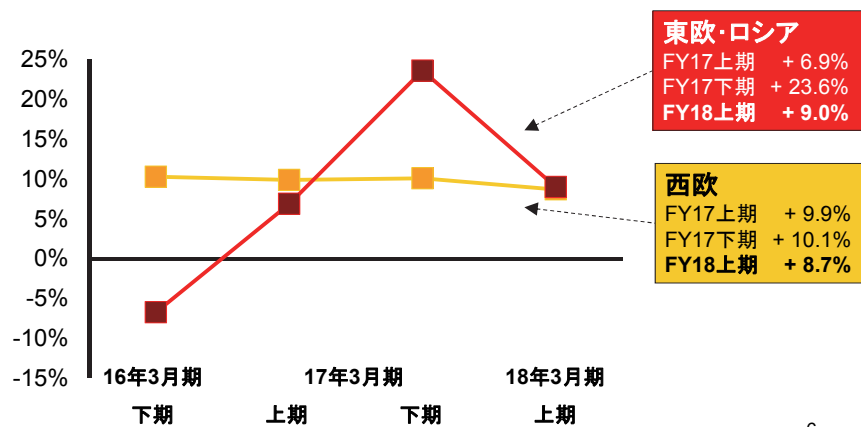
5

現地通貨ベース売上動向



欧 州

前年中間期比伸び率 + 8.8%

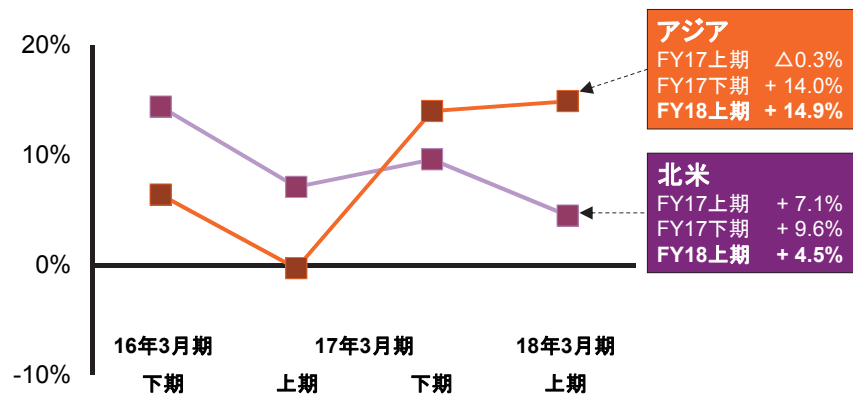


6

現地通貨ベース売上動向



北米・アジア

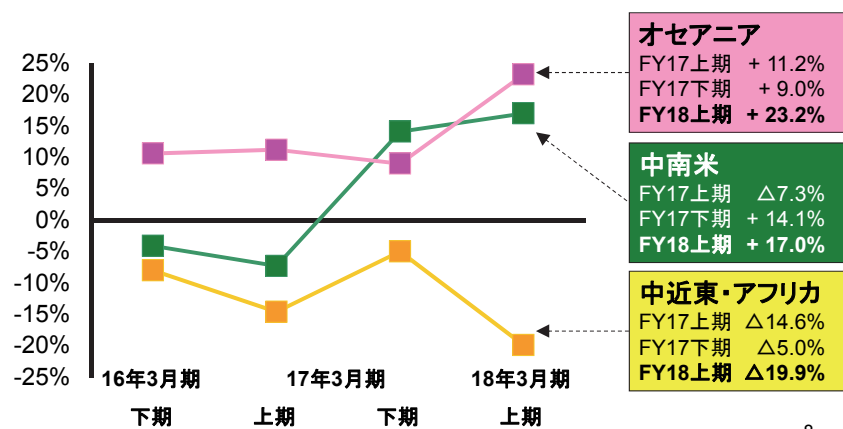


7

現地通貨ベース売上動向



その他地域 (中南米、オセアニア、中近東・アフリカ)



8

リチウムイオンバッテリー製品 園芸用機器(OPE)



当期の新製品の一例

リチウムイオンバッテリー製品

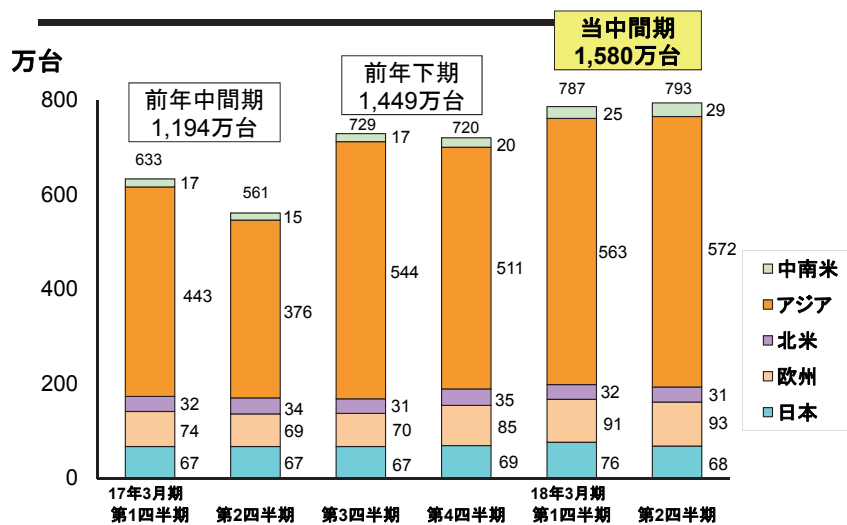


OPE製品



9

地域別生産台数



10

棚卸資産(在庫)



2017年3月末 1,674億円

2017年9月末 1,902億円

228億円増加

〔 内訳: 実在庫 128億円増加
為替の影響 100億円増加 〕

11

売上原価・販管費



前年中間期比

売上高	2,310億円	+ 15.4%
売上原価	1,467億円	+ 17.6%
売上原価率	63.5%	1.1ポイント上昇
販管費	460億円	+ 10.4%
販管費率	19.9%	0.9ポイント改善

12

営業利益



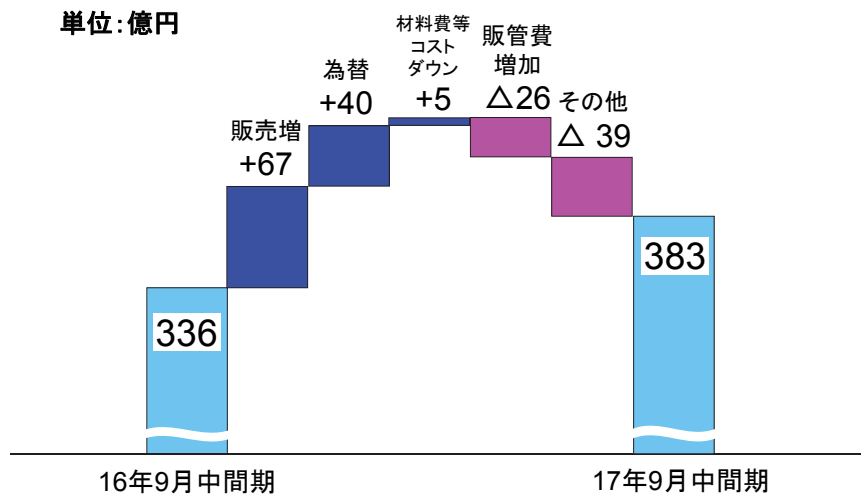
	16年9月中間期	17年9月中間期	前年中間期比
売上高	2,001億円	2,310億円	+ 15.4%
売上原価	1,248億円	1,467億円	+ 17.6%
販管費	416億円	460億円	+ 10.4%
営業利益	336億円	383億円	+ 13.8%
営業利益率	16.8%	16.6%	0.2ポイント低下

13

営業利益増減要因



単位: 億円



14

営業外損益・税引前利益・四半期純利益



	16年9月中間期	17年9月中間期	前年中間期比
営業外損益	4億円	12億円	+ 8億円
税引前利益	341億円	395億円	+ 15.8%
当社株主に帰属する 四半期純利益	241億円	277億円	+ 15.0%
EPS	88.68円	101.96円	+ 15.0%

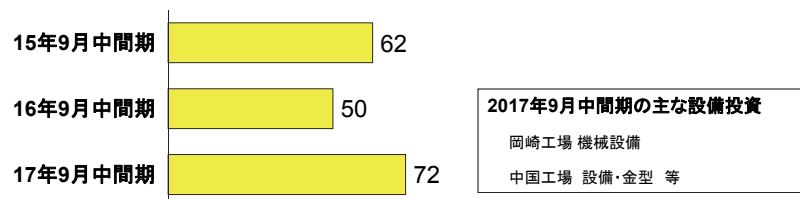
(注)2017年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。16年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定してEPSを算定しております。

15

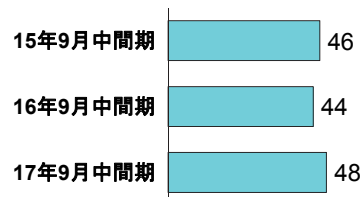
設備投資・減価償却費・研究開発費



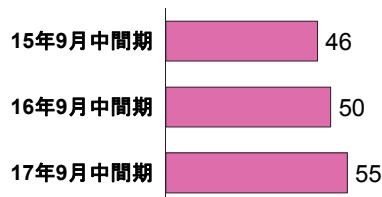
設備投資 単位:億円



減価償却費 単位:億円



研究開発費 単位:億円



16



マキタの取り組み

- ①リチウムイオンバッテリー製品群の拡充
- ②エンジンから充電へ
- ③サービス・販売拠点の拡充

17

マキタの取り組み

①リチウムイオンバッテリー製品群の拡充

当期の代表的なモデル



無線連動(AWS)シリーズ

- ・充電式防じんマルノコ KS512D/513D
 - ・充電式集じん機 VC864D
- 充電式工具での無線連動集じん機能は業界初^{*1}



AC機同等^{*2}のパワーの充電式グラインダ

- ・180mm充電式ディスクグラインダ GA700D
- より大きなパワーを必要とする大型180mmグラインダのコードレス化を実現

大型工具のコードレス化 & 集じん機の無線連動化

^{*1} 2017年7月 当社調べ

^{*2} 当社AC100V機比

18

マキタの取り組み

②「エンジンから充電へ」 充電式OPEの拡販



“ZERO EMISSION”を掲げ、
充電式園芸工具（OPE）の拡販・
市場認知度の向上に注力



積極的な
新製品開発

エンドユーザー
へのPR活動



（例）ホームセンターでの実演会（日本）



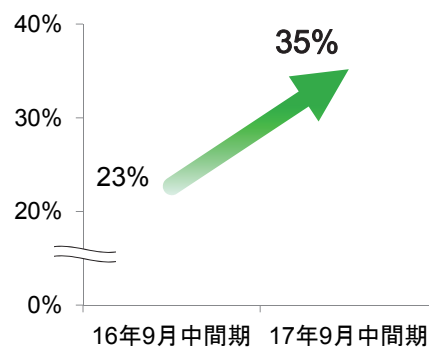
（例）欧州5か国のサッカートップリーグでの
協賛を開始（海外）



19

マキタの取り組み

②「エンジンから充電へ」 充電式OPEの拡販



OPE売上に占めるリチウム
イオンバッテリー製品の比率
（連結）

20

マキタの取り組み
③販売・サービス拠点の拡充



地域・現場・顧客に密着した営業体制の整備

倉庫面積の拡張
物流機能の強化

デモルーム
研修設備の充実

修理体制の強化

当期開設した拠点



21

2018年3月期 売上高予想



前期比

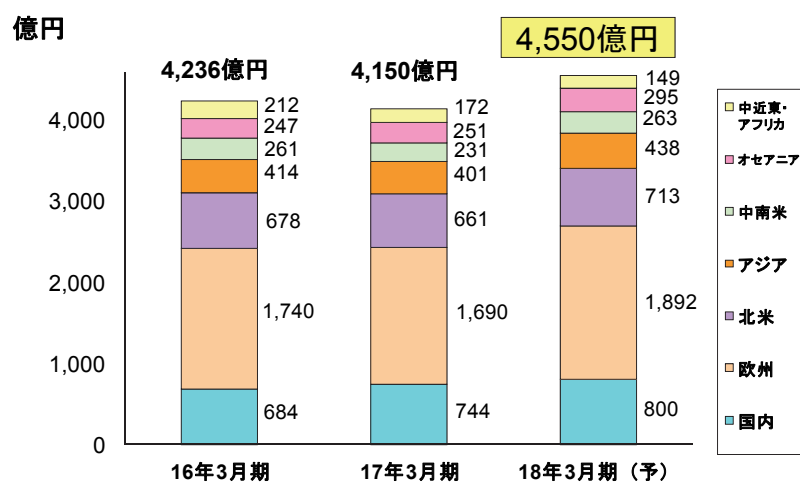
売上高	4,550億円	+ 9.6%
国内売上	800億円	+ 7.6%
海外売上	3,750億円	+ 10.1%
海外比率 82.4% (17/3 82.1%)		

想定為替レート

	米ドル	ユーロ	人民元
下期	110円	130円	16.8円
通期	111円	128円	16.6円

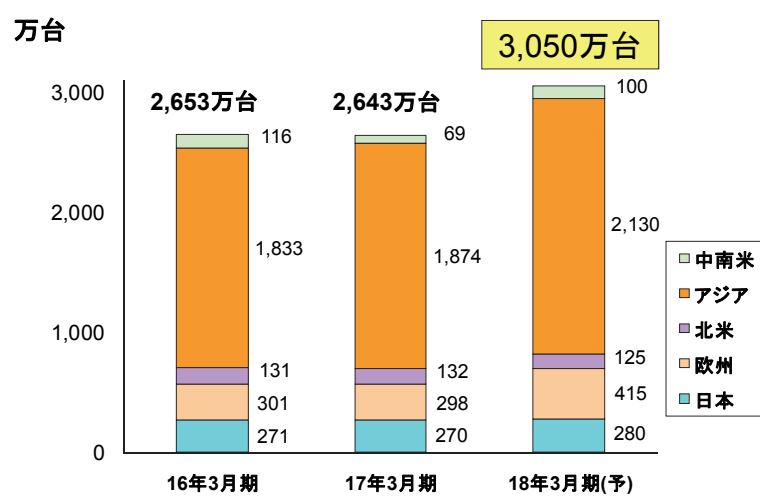
22

地域別売上高予想



23

生産計画



24

2018年3月期 通期業績予想



	17年3月期	18年3月期	前期比
売上高	4,150億円	4,550億円	+ 9.6%
営業利益	626億円	700億円	+ 11.9%
税引前利益	647億円	723億円	+ 11.7%
当社株主に帰属する 当期純利益	448億円	510億円	+ 13.9%
EPS	164.96円	187.87円	+ 13.9%
ROE	9.1%	9.8%	0.7pts 改善

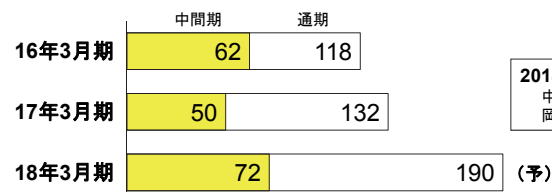
25

設備投資・減価償却費・研究開発費



設備投資

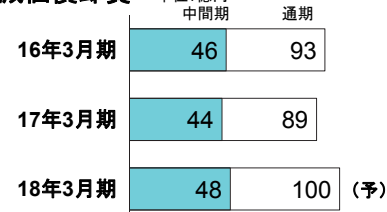
単位: 億円



2018年3月期 190億円(予定)
中国工場設備・金型
岡崎工場設備・金型 等

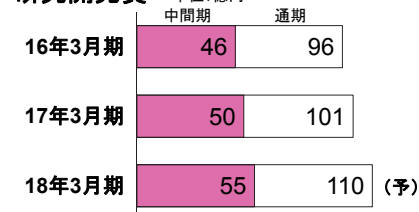
減価償却費

単位: 億円



研究開発費

単位: 億円



26

配当



基本方針	連結配当性向 30%以上	
	17年3月期	18年3月期
当社株主に帰属する当期純利益	448億円	510億円(予)
EPS	164.96円	187.87円(予)
特殊要因 (税引後)	—	—
1株当たり年間配当金	100円	未定(注)
中間配当	18円	10円
期末配当	82円	未定(注)
配当性向	30.3%	30%以上

(注)2018年4月開催予定の取締役会で連結配当性向30%以上となる配当案を決定。

27



<http://www.makita.co.jp/>

ここで記載されている見通しは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

28